

〈第7期〉

日本美術教育連合
「造形・美術教育
力養成講座」
第2回



コンピュータ

は、計算による造形
を可能とするツールと
して機能するだけでなく、
ネットワークに接続されるこ
とにより既存のメディアの枠を
取り除き、その応用の幅を一層広
げています。この講演では、デジタ
ルテクノロジーを活用した造形表現
について、作品や実践の紹介とワーク
ショップを交え、その現在と今後の展
望についてお話しします。

日時：2022年1月22日（土）
13:30～15:40
オンライン講座

今日のデジタルテクノロジーを活用した造形表現

■ 講師：大石啓明 武蔵野美術大学デザ
イン情報学科専任講師 2012年4月～
2021年3月：チームラボ株式会社に
て、コンピュータグラフィクスを主
な表現の手段として、インタラ
クションを伴うシステムの設
計や開発を行う。

- 申し込み：先着30名
- 詳細：Peatix > 日本美術教育連合で検索
参加費 一般1,500 会員・学生1,000

<https://inseaseminar2021-2nd-0122.peatix.com>



「造形・美術教育力養成講座」全3回

今日、Society5.0社会に向けて、加速度的にDX社会（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。美術教育に関してもデジタル表現や、デジタルを介したコミュニケーションは避けては通れない内容となってきました。講座では幾つかの事例を紹介し、ワークショップを通してこれからのICTを活用した造形美術教育のあり方を考えることをテーマに全3回の講座を開催します。2回以上を受講し、規定を満たした参加者には、公益社団法人日本美術教育連合の「認定書」を授与します。